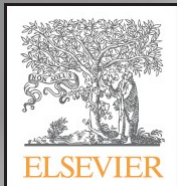


Author Pack

学術ジャーナルに論文を出版するための手引き

目次

エルゼビアのジャーナルに論文を発表する意義	2
科学論文の書き方	3
英文校正とクオリティ	7
最適なジャーナルの選択、論文形式とカバーレター	8
Elsevier Editorial System(EES)と査読	10
論文が受理された後	11
著者の権利と責任	12
倫理と剽窃	13
エルゼビアのオンライン製品(ScienceDirect、Scopus、Scirus、SciTopics)	14
インパクトファクターとその他の指標	15
その他のウェブサイト	16



Author Pack

学術ジャーナルに論文を出版するための手引き

エルゼビアのジャーナルに論文を発表する意義

125年におよぶ出版の実績

過去125年間、エルゼビアは優れた出版物の代名詞でした。その歴史は今も続いています。エルゼビアは、毎年250,000件以上のジャーナル論文を受理し、出版しています。Thomson Reuters社のJournal Citation Reports®(JCR)に搭載されている国際的な科学出版物のうち20%以上が、エルゼビアから出版されています。
<http://www.elsevier.com/aboutelsevier>

世界的に有名な出版物

エルゼビアが出版するジャーナルや書籍は、*The Lancet*, *Cell*, *Tetrahedron Letters* など、世界的に有名かつ権威のあるSTM（科学・技術・医学系）出版物です。

一流の研究者の仲間入り

エルゼビアのジャーナルに論文を発表ということは、すなわちガリレオ(Galileo)からジュール・ヴェルヌ(Jules Verne)、スティーブン・W・ホーキング(Stephen W. Hawking)まで、著名な学者、科学の先駆者、教育者などの先輩と同じ環境に研究成果を発表するということです。

著者の権利とエルゼビアの義務

エルゼビアにとって、論文の著者は学術出版のサイクル上不可欠な存在です。そのため、エルゼビアは著者の権利を守り、あらゆる法的情報、著作権に関する規制に対応するよう努めています。

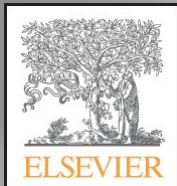
著者の利益

エルゼビアは、ほとんどのジャーナルにおいて論文の電子別刷り(PDF)を著者に配布し、著作権に関する先進的な方針を定め、エルゼビアの出版物の割引販売するなど、著者に多くの特典を提供します。さらに、将来に渡って著者の論文が確実に提供されるよう、極めて高いレベルの電子アーカイブ保存および情報共有に取り組んでいます。

コミュニティへの貢献

エルゼビアは、コミュニティおよび広く世界に対する責任を認識しています。そして、企業責任を果たすさまざまなプログラムに誇りを持って取り組んでいます。

<http://www.elsevier.com/philanthropy>



Author Pack

学術ジャーナルに論文を出版するための手引き

科学論文の書き方

はじめに

研究論文を書くのは大変な仕事です。画期的な研究を成し遂げても、論文を正しく書かないと、出版まで長い時間を要したり、出版されないこともあります。本書の目的は、出版に向けて研究論文の正しい構成と書き方を概説することにあります。初めて論文を書く研究者を主な対象とし、あらゆる研究分野に対応する一般的な内容となっています。

研究論文を書く必要性

自明のように思えますが、自問してみる価値はあります。ジャーナルの編集者と査読者は、その研究分野を一步前進させるような独創的で革新的な研究を求めています。十分なデータで信頼性の高い統計的な結論を導き出しましょう。大規模な研究についての論文を書く場合でも、成果を小出しにした論文を複数書くより、重要な論文を1つ書くほうが良いでしょう。どのジャーナルに論文を投稿するかを決めるには、そのジャーナルの読者を考慮してください。その論文は、国際的な疑問に答える内容ですか。それとも、主に国内の関心を引くものですか。後者であれば、国際的なジャーナルより国内のジャーナルに発表したほうが良いかもしれません。

論文の構造

科学論文は、厳密な構造に従って書きます。この形式は、数百年をかけて作り上げられ、科学的発見を研究関係者に広く伝えるために、最も効率的な方法と考えられています。さらにこの形式には、読者が複数のレベルで論文を読めるという利点があります。タイトルだけを見る人もいれば、タイトルと抄録だけを読む人もいます。もっと深く理解したい人は、全部とはいかなくても論文のほとんどを読むでしょう。ほとんどの学術分野で、タイトル、著者、抄録、キーワード、序文、方法、結果、考察、謝辞、参考文献、補足資料という形式を使います。ほとんどのジャーナルで見出しは統一されているものの、多少の差があります。したがって、書き始める前に、論文を投稿しようと思うジャーナルの投稿規程を必ず読んでください。

セクション

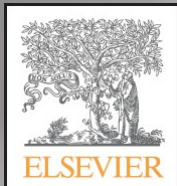
Title (タイトル)
Authors (著者)
Abstract (抄録)
Keywords (キーワード)

目的

内容を明確に示す
執筆者(1人または複数)が分かるようにする
何をしたかを簡潔に説明する
論文が抄録・索引サービスで正しく識別されるようにする

本文

Introduction (序文)	仮説を説明する
Methods (方法)	データの収集方法や実験手法を説明する
Results (結果)	何を発見したかを説明する
Discussion (考察)	研究結果の意味を検討する
Acknowledgements (謝辞)	研究を支援した人が分かるようにする
References (参考文献)	過去に出版された論文が分かるようにする
Supplementary material (補足資料)	専門家向けの補足資料を提供する



Author Pack

学術ジャーナルに論文を出版するための手引き

スタイルと言語

スタイルに関しては、ジャーナルの投稿規程を参照することが大切です。特定のジャーナルを想定して論文を書く著者もいれば、論文を書いた後で投稿を決めたジャーナルのスタイルに合わせる著者もあります。著者の好みがどうであれ、科学論文を書くプロセスにおいて、いくつかの基本事項は変わりません。目的は、結果と結論を明確に、そしてできる限り正確に伝えることです。余計な言葉で飾らないようにしましょう。能動態は、文章を短くしてくれます。例えば、carbon dioxide was consumed by the plant ... (二酸化炭素は植物によって消費される) というのは受動態です。能動態に変えれば、the plant consumed carbon dioxide ... (植物が二酸化炭素を消費する) と短縮できます。次に、科学的な文章における時制の使い方を説明します。

既知の事実と仮説には、現在時制を使用します。

The average life expectancy of a honey bee is 6 weeks. (ミツバチの平均寿命は6週間である。)
実行した実験について書くときは、過去時制を使用します。

All the honey bees were maintained in an environment with a consistent temperature of 23°C.
(すべてのミツバチを、気温摂氏23度の環境に維持した。)

実験の結果について書くときは、過去時制を使用します。

The average life span of bees in our contained environment was 8 weeks.
(封じ込めた環境におけるハチの平均寿命は8週間だった。)

英語が母国語でない場合、出版社に投稿する前に英語のネイティブスピーカーに論文の校正を依頼することをお勧めします。または、英文校正サービスを利用することも可能です。

<http://www.elsevier.com/languagepolishing>をご覧ください。

Authors (著者)

著者一覧には、研究に直接関与した人、すなわち、データや結論を公式に擁護し、最終原稿を承認した人だけを含めます。著者名の記載順序は、学術分野によって異なります。分野によっては、コレスポンディングオーサーを最初に挙げる場合もあります。

Title (タイトル)

タイトルは、論文の内容を明確かつ正確に表現し、読者がそれを見て論文を読むべきかどうかを判断できるものでなければなりません。タイトルは、論文の広告でもあります。魅力的でないタイトルの論文は対象読者に決して届きません。具体的なタイトルを決めましょう。A study of ～, Investigation of ～, Observations on ～など、無駄な言葉は省きます。略語や隠語を使ってはなりません。タイトルに使用されている言葉は抄録・索引サービスにキーワードとして索引づけされるため、タイトルの正確さが重要となります。

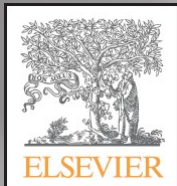
Keyword list (キーワードリスト)

キーワードリストの提出が必須のジャーナルもあります。このリストには、タイトルに出てくる語に加え、重要な語を挙げます。キーワードを正しく選択すれば、論文が他の研究者の目につく可能性が高くなります。抄録・索引サービスは、これらのキーワードを索引づけに使用します。

また、エルゼビアの多くのジャーナルでは、オンライン投稿プロセスにおいて専門分野の選択が必須になります。この分類は、編集者が適切な査読者を選択する際に利用されます。

Abstract (抄録、アブストラクト)

抄録は、50～300語で問題点、方法、結果、そして結論をまとめたものです。論文のタイトルは、内容を最も簡単に表したものです。一方、抄録では、論文の主要部分について詳しく述べることができます。抄録は、読者が論文全体を読むかどうかを判断できるだけの十分な情報を含んでいる必要があります。タイトルと抄録はそれぞれ単体でも内容が分かるよう、過不足なく記述してください。多くの著者は、論文の内容を正確に反映できるよう、抄録を最後に書くことを推奨します。



Author Pack

学術ジャーナルに論文を出版するための手引き

本文

Introduction（序文）

序文は短く、1～2パラグラフが理想的です。研究する問題、問題の背景説明、研究を行う理由について明確に述べてください。関連の研究をまとめて前後関係を説明し、自分の論文が既に発表されている論文とどう違うのか、どんな課題に答えているのかを述べます。反論、あるいは支持する他の人の研究結果があれば言及します。実験、仮説、研究する疑問点、一般的な実験の計画や方法も、簡潔に説明します。長い記述は、ここではなく考察に書いてください。

Methods（方法）

Materials and Methods or Experimental Methods(材料、研究方法、実験的方法)など。このセクションの主な目的は、読者が同じ研究を反復できるよう十分な情報を与えることです。どのように問題点を研究したのかを説明し、手順を明確にし、それらを可能な限り時間軸に沿って並べます。新しい方法を取り入れた場合は、詳細な説明が必要です。新しい方法でなければ、方法の名前を挙げ、既に発表されている論文を引用します。その方法に修正を加えている場合は、元の論文を参照するとともに、修正点を書き加えます。器具や装置、使用した材料について述べます。材料の特性に差がある場合は、供給元を明確にします。観察の頻度、記録したデータのタイプも明記します。測定値は正確に、誤差も記載します。使用した統計的試験があれば明記し、数値結果の正当性を実証します。ジャーナルによって異なりますが、過去時制を使用し、一人称を使用しないことをお勧めします。

Results（結果）

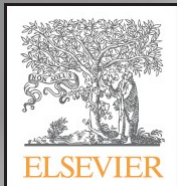
このセクションでは、研究結果を客観的に提示し、発見したことを言葉で説明します。ここでは、新しい研究結果が科学的知識の積み重ねに貢献することを示すのですから、明確かつ論理的な順序に従って述べることが重要です。生データを科学論文に記載することはめったにありません。データは分析し、図(グラフ)、表、観察の説明などの形で提示します。読者に対して明確に傾向を示すことが重要です。結果のセクションは、研究の課題や仮説に対する結果を明確に示す表や図に基づき、論理的に順序正しく書きます。表や図には、本文中で言及する順序に従い、1つずつ番号を割り当てます。図には短い図説を添え、データの生成方法を理解するための十分な情報を読者に与えます。結果の分析を述べてはなりません。それは、考察のセクションで扱います。

Discussion（考察）

このセクションでは、結果が何を意味するのか、特に研究テーマについて既にわかっていることを踏まえた上で何を意味するかを説明します。提示する疑問点や仮説を通じて、序文と関連性を持たせる必要があります。結果が、予想および前に引用した文献とどのように関連しているのか、過去の理論に一致するのか反するのかを示してください。最も重要なのは、研究が科学知識の進歩にどのように寄与するかを説明することです。結果が直接的に裏付けないところまで結論を拡大したり、過度の推測をしたりすることは避けます。また、結果の実用化を提案し、研究の次の段階を概説することをお勧めします。

Acknowledgments（謝辞）

このセクションは短くまとめ、協力者、指導教官、無償で材料を提供してくれた人など、研究を支援してくれた人の名前を挙げます。論文の結果や解釈に影響を与えられる金銭的、その他の利益相反もあれば、記載します。



Author Pack

学術ジャーナルに論文を出版するための手引き

References（参考文献）

過去に発表された論文を参考にする際は、必ず出典を明らかにします。自分の実験や「常識」で得られない情報はすべて、引用として示す必要があります。引用の記載方法については、学術分野によってかなり異なるため、各ジャーナルの投稿規程を参照してください。論文内に記載する引用が長い場合は、インデントを使って独立したパラグラフにします。短く、論文の自然な流れに組み込む場合は、引用符号を使います。どちらの場合も、参考文献を明記してください。

論文の最後に記載する参考文献のセクションには、論文中に引用したすべての参考文献を挙げます。このセクションは、読んだものの本文には引用していない文献も挙げる書籍の参考文献とは異なります。参考文献の記載方法もジャーナルによって異なるため、投稿規程を参照してください。

Supplementary material（補足資料）

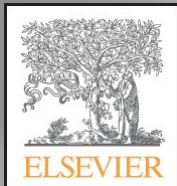
通常、科学論文に生データは記載しません。しかし、データが有用と考えられる場合、論文に添付することができます。これは、ジャーナルのオンライン化が進み、補足資料を添えるコストが安くなるにつれ、一般的になりつつあります。補足資料には、生データの表、映像、写真、複雑な3Dモデルなども含めることができます。複数の資料群がある場合は、付録1、付録2など、それぞれに番号を付けます。補足資料の提出に関する詳細なガイドラインは、<http://www.elsevier.com/artwork>をご覧ください。

論文執筆に関する推奨文献

Davis, M. (2005) Scientific Papers and Presentations, 2nd Edition, Academic Press

Grossman, M. (2004) Writing and Presenting Scientific Papers, 2nd Edition, Nottingham University Press

Clare, J. and Hamilton, H. (2003) Writing Research Transforming Data into Text, Churchill Livingstone



Author Pack

学術ジャーナルに論文を出版するための手引き

英文校正とクオリティ

英語のクオリティの重要性

論文に報告されている結果が最新のものであっても、英語の文法や綴り、用法に間違いがあり、文章のクオリティが低ければ、出版が遅れたり無条件で却下されたりし、論文が然るべき評価を受けられなくなる恐れがあります。研究と出版のレベルが高くなるにつれ、著者にとっては、出版社に投稿する論文をできるだけ完璧に仕上げるのが有利となります。これには、英文のクオリティが高いこと、投稿規程に準拠していること、事実に基づく正確なデータを提示していること、などが含まれます。

事実、多数の編集者から、英文のクオリティの低さが論文の価値を打ち消し、論文を著者に返却せざるをえないという声が聞かれます。編集者にとっては、論文の査読者を見つけるのが難しく、良い英文の論文を査読に出さねばならないというプレッシャーが高まっているからです。

英文のクオリティが査読に与える影響

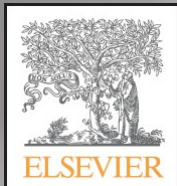
論文は、査読のプロセスにおいて、査読者と編集者の両方から学術的な内容と価値を評価されます。

適切なレベルの英語で論文を書き、投稿規程に従って構成することは、著者の責任です。編集者と査読者に、英文校正する責任はありません。

論文が正しい英語で正しく構成されていれば、編集者と査読者が学術的な価値に焦点を絞ることができ、査読のプロセスが円滑に進みます。そして論文の出版も早くなります。

論文を投稿する前に著者がすべきこと

英文のレベルを高め、論文のクオリティを高めるには、英文校正サービスの利用を検討するようお勧めします。詳細は、<http://www.elsevier.com/languagepolishing>をご覧ください。



Author Pack

学術ジャーナルに論文を出版するための手引き

最適なジャーナルの選択、論文形式とカバーレター

- ・ ジャーナルの目的と範囲(Aims and Scope)が自分の論文に合っていることを確認します。
- ・ ジャーナルが依頼論文のみで構成されていないことを確認します。依頼論文しか受理しないジャーナルもあることに注意してください。
- ・ 一度に1つのジャーナルにのみ論文を投稿します。
- ・ 投稿を受け付けている論文のタイプ、編集部の連絡先、画像の仕様、受理可能な言語と論文の長さなどを示した投稿規程を確認してください。

論文の書式

論文は、正しく書かれているだけでなく、適切な書式に従っている必要があります。

- ・ エルゼビアは、ほとんどの文書処理形式に対応しています(Microsoft WordやLaTeXが望ましい)。
- ・ 各ジャーナルのスタイル、特に参考文献の書き方については、ジャーナルの投稿規程を確認してください。各ジャーナルで決められたスタイルで論文を投稿することにより、後で加えなければならない変更が少なくなり、間違いが生じる可能性が小さくなります。<http://www.elsevier.com/authors>から論文を投稿したいジャーナルを選択し、「guide for authors」をクリックしてください。
- ・ エルゼビアでは、原稿を加工する際に、ほとんどの書式設定コードを削除、あるいは置き換えるため、過度のレイアウトは不要です。
自動単語分割、均等割付、2段組み、自動段落番号(特に参考文献の番号)などのオプションは、使用しないでください。
- ・ ボールド、イタリック、下付き文字、上付き文字などは、適宜使用して構いません。
- ・ 表を作成する際には、データ項目はスペースではなくタブで区切って配置し、罫線の使用は最小限にします。
- ・ 論文は、一般的な規則として以下の順序で記述されます。ただし、具体的な指示については各ジャーナルの投稿規程を確認してください。

セクション

Title (タイトル)

Authors (著者)

Abstract (抄録)

Keywords (キーワード)

目的

内容を明確に示す

執筆者(1人または複数)が分かるようにする

どんな研究をしたのかを簡潔に説明する

論文が抄録・索引サービスで正しく識別されるようにする

本文

Introduction (序文)

Methods (方法)

Results (結果)

Discussion (考察)

Acknowledgments (謝辞)

References (参考文献)

Supplementary material (補足資料)

仮説を説明する

データの収集方法や実験手法を説明する

何を発見したかを説明する

研究結果の意味を検討する

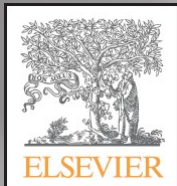
研究を支援した人が分かるようにする

過去に出版されている研究が分かるようにする

専門家向けの補足資料を提供する

説明図

説明図、絵、表、およびマルチメディア、補足ファイルなどのアートワークを電子形式で提出することは、エルゼビアが、最善の形で論文を仕上げ、精度、明確さ、高い詳細度を確保するのに役立ちます。アートワークの条件について詳しくは、<http://www.elsevier.com/artwork>をご覧ください。



Author Pack

学術ジャーナルに論文を出版するための手引き

カバーレターの作成

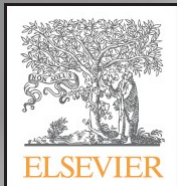
投稿する論文には必ず、何をどのジャーナルに投稿するのかを説明したカバーレターを添えます。

以下を明記してください。

- ・ コレスポンディングオーサー
(著者が複数の場合は、連絡先となる著者を1人指定します)。
- ・ 電子メールアドレス、連絡先住所、電話/ファクス番号
(出版社から著者に電子メールでPDFの校正刷りが送られます)。
- ・ 過去に投稿した論文、あるいは並行して投稿中の論文があれば、その詳細。
- ・ 論文を裏付ける情報を編集長に提供することも有効
(オリジナルデータまたは確認データ、適切さ、時事性など)。
- ・ 論文の作成における利益相反がある場合は明記する(資金源など)。

注意: エルゼビアは、受け取った論文を最終原稿と見なします。したがって、投稿前に入念に論文をチェックしてください。

Elsevier Editorial System(EES)の要件について詳しくは、<http://elsevier.com/ees>をご覧ください。



Author Pack

学術ジャーナルに論文を出版するための手引き

Elsevier Editorial System(EES)と査読

オンライン投稿

エルゼビアは、ジャーナルの出版プロセスを最初から最後まで完全にオンライン・ワークフローに移行することで、著者、編集者、査読者に対するサービス向上に努めています。Elsevier Editorial System(EES)は、この目的を果たすために使用しているオンライン投稿システムです。ほとんどのエルゼビアのジャーナルは現在、EESを通じたオンライン投稿を採用しています。これには、査読と出版が円滑に進み、査読・編集の進捗状況の確認が可能で、電子メールアラートを受け取ることができるなど、多くの利点があります。EESをまだ使用していないジャーナルについては、電子メール、ディスクまたは紙原稿での投稿を受け付けます。詳細は、各ジャーナルの投稿規程をご覧ください。<http://www.elsevier.com/authors>から投稿先のジャーナルを選択し、「*guide for authors*」をクリックします。

EESを通じた論文投稿の詳細については、<http://elsevier.com/ees>をご覧ください。

査読

エルゼビアの主要な学術ジャーナルに掲載される論文は、査読され、各分野の実績ある専門家によって編集されます。査読者は、ジャーナルの編集者が指名します。

査読には、以下の重要な機能があります。

- ・ 論文の正当性、重要性、独自性を判断し、優れた研究だけを発表するフィルターの役割を果たします。
- ・ 査読者に改善を提案する機会を与えることにより、出版を目的として投稿された論文のクオリティを高め

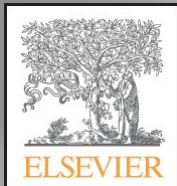
ます。

一部のジャーナルでは、査読者になりうる人を挙げるよう著者に要求しています。

さまざまなタイプの査読

査読のタイプ	説明
シングルブラインド	査読者の名前が著者に知らされない
ダブルブラインド	査読者も著者も匿名のまま
オープン	査読者も著者も名前が開示されている

査読者は、論文を読んだ後、編集者に論文の受理、改訂後に受理、あるいは却下を提案します。査読の詳細、または査読者になる方法については、<http://www.elsevier.com/peerreview>をご覧ください。



Author Pack

学術ジャーナルに論文を出版するための手引き

論文が受理された後

出版を前提に受理された論文は、デジタルオブジェクト識別子(DOI: Digital Object Identifier)を付与され、出版待ちの論文(article in press)として電子ジャーナルのScienceDirect上にオンライン公開されます。DOIがあるということは、その論文を他の研究者が即座に引用できるということです。詳しくは、<http://www.doi.org>をご覧ください。

出版待ちの論文は、後日、発行号数を指定されます。著者は、論文追跡ページ

(<http://authors.elsevier.com/trackpaper.html>)で、自分の論文が出版プロセスのどこにあるかを追跡することができます。

出版社のプロセスの概要は、以下のとおりです。

登録

- ・ 論文に固有のレファレンス番号を割り当てる
- ・ 論文の最終原稿一式を確認する
- ・ アートワークの明確さと有用性を確認する。
- ・ コレスポンディングオーサーに確認メールを送り、論文の追跡に使用する論文番号を知らせる
- ・ コレスポンディングオーサーにジャーナル出版合意書を送る

制作:

- ・ アートワークを適切に配置する。
- ・ 校正刷りを作り、最終的な見直しのためにコレスポンディングオーサーに送る
(このプロセスについての補足説明は下記*を参照)

出版:

- ・ 校正刷りのエラーをすべて修正する
- ・ 出版待ち論文としてScienceDirectにオンラインで公開する
- ・ 論文に、巻、号、ページを割り当てる。
- ・ 最終原稿を印刷業者に送る
- ・ 印刷したジャーナルを購読者に発送する

別刷り

PDFの電子別刷りは、論文がScienceDirectにオンラインで掲載されてから24時間以内に電子メールで送付されます。電子別刷りの代わりに印刷版を注文した場合は、印刷版の発行後、通常6～8週間で発送されます。発送日は、論文追跡ページを使って確認できます。到着にかかる時間は、送付先の住所によって異なります。

論文の受理から最終的な印刷までの間に、著者には以下をお願いしています。

1. ジャーナル出版合意書の提出
2. 印刷版の別刷りが必要な場合は、別刷り注文書に記入
3. 校正刷りを見直して、間違いのチェック、欠けている部分の補足をする

*制作プロセスについて(補足)

制作

完成した論文については、ジャーナルのスタイルに合わせた原稿整理、タイプセット、オンライン出版用のレイアウトを行います。アートワークは必要な要件に従ってサイズで並べられ、スキャンされます。そして、最終的なチェック用として、校正刷りを著者に送ります。

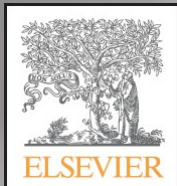
校正

論文のタイプセットが終わるとすぐ、その校正刷りをPDFファイルでコレスポンディングオーサーに送ります(電子メールアドレスがない場合は、論文の校正刷りが郵送されます)。これは通常、最終原稿をエルゼビアが受け取ってから4～5週間後です。

正確な校正と修正箇所の明示は、クオリティの高い論文の制作に必須です。入念な校正は、全面的に著者の責任です。必要な修正はすべて、わかりやすく明記してください。

エルゼビアは、著者の論文を修正し、できるだけ速く正確に出版しようと全力を尽くしています。

したがって、すべての修正を1回の連絡でエルゼビアに戻すことが重要です。



Author Pack

学術ジャーナルに論文を出版するための手引き

著者の権利と責任

エルゼビアでは、著者の権利を守り、あらゆる法的情報、著作権に関する規制に対応するよう努めています。

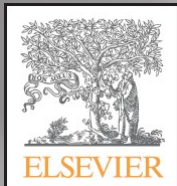
著者の権利

ジャーナル論文の著者は、自らが雇用されている機関や企業による使用など、論文を幅広い形で利用する権利を持ちます。これらの権利は、エルゼビアから特に許諾を受けていなくても、維持され、許可されるものです。

著者の権利には以下があります。

- ・ **教育**: 著者は、論文を電子的あるいは物理的にコピーし、講義で使用したり、個人的に使用したりすることができます。
- ・ **教育資料**: 論文は、著者の所属機関や企業の電子的なコースパックに入れたり、企業の研修に使用したりすることができます。
- ・ **学術的な共有**: 論文のコピーを研究仲間と共有することができます。
- ・ **ミーティングや会議**: 論文を紹介し、出席者のためにコピーすることができます。
- ・ **論文の拡張**: 論文は、論文集に使用したり、拡充して書籍として出版したり、卒業論文や学位論文に使用できます。
- ・ **特許および商標権**: 開示された発明や製品に論文を利用する権利があります。
- ・ **ウェブサイト**: 著者は、論文のプレプリント版をウェブサイトに掲載できます。改訂版を所属機関や個人のウェブサイトに掲載する場合は、論文のデジタルオブジェクト識別子(DOI)のリンクを併記してください。

著者の権利に関する詳細は、<http://www.elsevier.com/authorsrights>をご覧ください。



Author Pack

学術ジャーナルに論文を出版するための手引き

倫理と剽窃

査読ジャーナルへの論文発表は、信頼される一貫した知識のネットワークを構築する上で不可欠です。出版論文は、著者の研究とその研究を支持する機関のクオリティを直接反映しています。

出版社の重要な役割は、論文が倫理的なガイドラインに従い、著者の研究が保護されるよう、社外のジャーナル編集者に充実したサポートを提供することです。

著者の責任

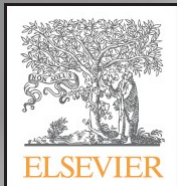
- ・ **報告の水準**: 論文の著者は、自分が実施した研究を正確に説明し、その重要性について客観的な考察を述べる必要があります。
- ・ **データへのアクセスとデータの保存**: 著者は、論文の査読に際して生のデータの提供を求められることがあります。また、生のデータを一般からアクセスできるようにする必要があります。
- ・ **独創性と剽窃**: 論文は、すべて独自に書かれたものでなければなりません。他人の論文や言葉を使用する場合は、適切な形で引用します。
- ・ **複数の出版**: 基本的に同じ内容の論文を複数のジャーナルに発表したり、複数回にわたって発表したりすることはできません。
- ・ **情報やデータなどの出所の明示**: 他の研究者の功績を常に、適切に認める必要があります。
- ・ **許諾**: 第三者の資料を使用する場合、著者は必ず許諾を求める(コストを支払う)責任があります。
- ・ **論文のオーサiership**: これは、報告されている研究の着想、企画、実施、分析に意義ある貢献をした者に限ります。意義ある貢献をした者は全員、共著者としてリスト化します。特定の研究プロジェクトの実質的な面に参加した者がある場合は、論文貢献者として謝辞またはリストに名前を載せます。
- ・ **利益相反**: 金銭的または他の実質的な利益相反、それが論文の結果や分析に影響を与える可能性がある場合は、それを開示する必要があります。
- ・ **出版論文における根本的な間違い**: 著者自身が、発表した論文に大きな間違いまたは不正確な点を発見した場合は、速やかに編集者または出版社に通知し、編集者と協力して論文を撤回または訂正する責任があります。

詳細は、<http://www.elsevier.com/publishingethics>をご覧ください。

電子出版が普及し、研究論文が広く読まれるようになるにつれ、編集者、査読者、著者にとって疑わしい論文の発見が容易となり、不正の報告が増えています。エルゼビアは、倫理的問題や剽窃に関する論争について、学術的な指針として新しいリソースを発表しました。

The Publishing Ethics Resource Kit (PERK) は、不正の疑いに関する情報、手続き、ガイドラインをまとめ、問題の解決に向けて推奨される手順を示したものです。編集者向けに書かれたキットですが、だれでも

<http://www.elsevier.com/publishingethicskit> から利用できます。



Author Pack

学術ジャーナルに論文を出版するための手引き

エルゼビアのオンライン製品 (ScienceDirect、Scopus、Scirus、SciTopics)

ScienceDirect (サイエンス・ダイレクト、<http://www.sciencedirect.com>)

ScienceDirectは、2,500タイトルの査読ジャーナル、11,000冊以上の電子ブック、900万件以上のフルテキストにアクセスできるエルゼビアのオンラインプラットフォームです。参考文献は、CrossRef™を介して複数のプラットフォーム上の他のSTM出版社にリンクしています。

ScienceDirectは、FASTの検索機能を使用し、フルテキスト検索、書籍やジャーナルの参考文献へのリンク、パーソナライズオプション、無料の電子メールアラート、RSSサービス等に対応しています。

Scopus (スコーパス、<http://www.scopus.com>)

Scopusは、研究論文情報を幅広く網羅し、査読ジャーナルや良質なウェブソースを元にした世界最大級の書誌・引用データベースであり、研究活動の可視化や追跡・分析が簡単にできるツールです。世界5,000以上の出版社の18,000誌を超える査読ジャーナルの書誌・引用情報が搭載されています。Scopusは論文の引用情報だけでなく、ウェブ上の情報や特許情報なども同時に検索可能です。最近では研究活動の調査を目的とした分析ツールとしても利用されています。

Scirus (サイラス、<http://www.scirus.com>)

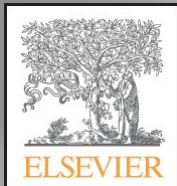
Scirusは、総合的な科学専用インターネット検索エンジンです。最新の検索エンジン技術を搭載したScirusは、4億8,000万件以上の科学関連Webページを検索するため、以下を迅速に実行することができます。

SciTopics (サイトピック、<http://www.scitopics.com/>)

SciTopicsは、Scirusから派生した無料の知識共有サービスです。専門家が幅広い学術分野のトピックに関するサマリーを1ページにまとめて解説しています。解説とともに各種の関連情報を提供することにより、学術研究の出発点となるように設計されています。

SciTopicsは、各トピックについての解説のほか、以下の機能を提供します。

- ・ 推奨参考文献リスト
- ・ 関連ウェブサイト
- ・ 最新論文、被引用数が多い関連論文 (Scopusを使用)
- ・ 関連ウェブ情報 (Scirusを使用)
- ・ 最新ニュース (Scirusを使用)
- ・ コメント付与機能



Author Pack

学術ジャーナルに論文を出版するための手引き

インパクトファクターとその他の指標

インパクトファクター

インパクトファクターは、学術出版物の品質を測定する際に最も広く用いられる値です。インパクトファクターは、被引用数とジャーナルに発表された引用可能な論文数の比、すなわち出版された論文1件当たりの平均被引用数として定義されます。以下に、Thomson Reuters社のインパクトファクター算出方法を説明します。

インパクトファクターの算出

2007年に引用された回数：	2006年出版の論文が合計187回 2005年出版の論文が合計318回	合計505回
出版した論文数：	2006年に合計54件 2005年に合計46件	合計100件
計算：	$\frac{505}{100}$ 2005年と2006年に出版された論文が引用された回数は合計505回 2005年と2006年に出版した論文は合計100件 このジャーナルの2007年のインパクトファクター	5.050

インパクトファクターは、研究分野によって大きく異なるため、同じ分野またはグループ内でのみ比較が可能です。

h-index(*h*指数)

h-indexは、これまでに出版した各論文の被引用数を基に算出し、研究者の業績を評価するものです。この値は、学術出版物の量(出版論文数)と質(被引用数)に依存します。

h-indexは、「当該研究者が発表した論文のうち、被引用数が少なくとも*h*回あるものが*h*本以上あるとき、その研究者の*h*-indexは*h*である」と定義されます。Scopusでは*h*-indexを自動計算し表示します。

h-indexとインパクトファクターの違い

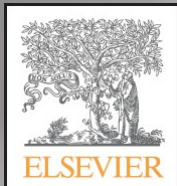
インパクトファクターがジャーナルの業績のみを示すのに対し、*h*-indexは研究者個人の評価をはじめとして、研究機関や学科、ジャーナルの評価等に応用されています。

利用度

利用度は、ジャーナルの価値や影響力を測定する新しい概念です。これは、フルテキスト論文がダウンロードされたり表示されたりした頻度と定義されます。Counting Online Usage of Networked Electronic Resources (COUNTER、<http://www.projectcounter.org>)は、利用度のレポートを標準化し、Usage Factorsと呼ばれる指標を開発しようとしています。

図書館は、蔵書とコストを評価するために、既に利用統計をよく使用しています。また、著者も自分の論文がどれだけダウンロードされているかに関心を持っています。

詳しくは、<http://www.elsevier.com/wps/find/editorsinfo.editors/biblio>をご覧ください。



Author Pack

学術ジャーナルに論文を出版するための手引き

その他のウェブサイト

Author Pack英語版(<http://www.elsevier.com/authors>)

Author Pack(本書)は、エルゼビアのジャーナルに論文を発表するために必要な情報をまとめて提供しています。

Editorial-Productionカスタマーサポート(<http://epsupport.elsevier.com>)

Journal Citation Reports®(<http://www.thomsonscientific.jp/products/jcr/index.shtml>)

JCRは、Thomson Reuters社が提供している、ジャーナルのインパクトファクターのデータベースです。

MEDLINE(<http://medline.cos.com/>)と**PubMed**(<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/>)

MEDLINEは、健康・医療系ジャーナル、その他のニュースソースに関して1,100万件の引用と抄録を集めたオンラインデータベースです。

PubMedは、米国国立医学図書館のサービスで、MEDLINEおよびその他のライフサイエンス系ジャーナルの生物医学論文に関して1,800万件以上の引用を収録しています。

デジタルオブジェクト識別子(DOI)(<http://www.doi.org>)

DOIとは、インターネット上で電子ジャーナルの論文を特定するための世界共通のコードです。一つのDOIが(ジャーナルのタイトルではなく)論文に対応しているため、DOIを含んだURLをクリックすると当該の論文が表示されます。

Sense About Science(<http://www.senseaboutscience.org.uk>)

Sense About Scienceは、独立した慈善団体です。プラスチックボトル、フッ化物、新三種混合ワクチンに関する動向から、遺伝子組み換え、幹細胞研究、放射能に関する論争まで、社会に影響を与える問題についての誤解を解き、科学的な実証に取り組んでいます。研究者や市民団体と協力し、根拠のある情報や科学的な思考の普及に努めています。

Google Scholar(<http://scholar.google.com/>)

学位論文、書籍、抄録、論文など、多くの分野とソースにわたり、学術文献の検索機能を提供します。

(2009年11月)